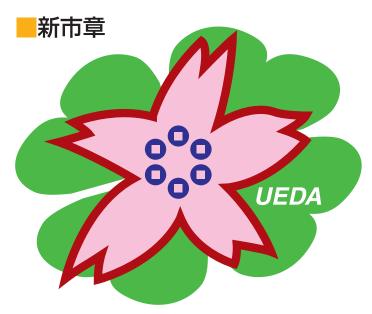
新生上田市 市章が決まりました

全国から応募いただいた1,443点について、新生「上田市」市章選定委員会で慎重に選定 を行い新生「上田市」の市章を決定しました。



[フルカラー使用]

●デザインコンセプト

背景の四つ葉のクローバーは、旧4市町村の調和した統合を、桜の花は元気で前向きに歩む上田市民の姿を、中央の花心はアレンジされた真田六文銭をイメージし、全体で新生上田市の自然と活気あふれる未来への発展を表現している。



[単色使用]



[モノクロ使用]

■最優秀作品(採用作品)



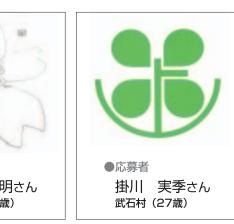


優秀作品









選定経過

●第1次選考(平成17年10月15日)

- ・見た目の器用さにとらわれないようにしながら、市章 選定委員会で右の選考ポイントを確認し選考しました。
- ・「私が選ぶ新生上田市『市章』展」を10月各市町村で開催し、来場された791人の皆さんから、それぞれ新市にふさわしい市章の投票をいただきました。
- ・第1次選考の結果、1,443点の作品から263点に絞り込まれました。

●第2次選考(平成17年11月20日)

- ①アンケート上位作品の傾向も踏まえ、キーワードを4市 町村合併、桜、六文銭とする。
- ②上田商工会議所100周年を記念して制定(上田市シンボルマーク制定委員会[上田商工会議所・上田市])された「六花文」については、イメージ戦略マークとして今後も民間を中心に活用されることを想定しながら選考する。
- ③優れたデザインを組み合わせることも選択肢とする。 以上の3点について確認し、第2次選考の結果26点 まで絞り込まれ、委員長が組合せデザインを作成し、次 回最終選考することとしました。

- ア 上田市らしさがある。
- イ ほかと違うユニーク性をもっている。
- ウ形に勢いと元気なイメージがある、動きがある。
- エこれからの時代にあったデザインである。
- オ 印刷物、バッジ、市旗等多様なものへ活用ができる。

●第3次選考(平成17年12月3日)

- ・4市町村合併の象徴としての四つ葉のクローバーデザインと桜のデザインの合作を中心に選考を進めました。
- ・何通りもの組合せの中から「クローバー」「桜」「六文銭」 「UEDA」によるデザインに絞り込まれ、それぞれの 大きさ、配置、縁取り、色などについて議論を重ねた 結果、新市章を全会一致で決定しました。
- ・合作のデザインとして採用された作品は2作品であり、 1点は桜と六文銭を組み合わせたもの、もう1点は桜 とクローバーを組み合わせたものでした。

●採用作品の決定

第3次選考で選定した作品について、類似デザイン 調査を経て市章を決定、第19回合併協議会(1月14日 開催)へ報告しました。

●市章の発表

1月14日、合併50日前イベントで、4市町村長、JA信州うえだ組合長、小学校代表13人の児童による除幕で、市章の発表が行われました。



新生「上田市」市章選定委員会委員名簿(敬称略)

氏 名		役 職 名 等	
委員長	馬場 雄二	東北芸術工科大学教授 ヴィジュアルデザイナー	上田市出身
副委員長	宮下 昭夫	合併協議会委員 上田市議会議長	上田市
委員	片桐 久	合併協議会委員 丸子町議会議長	丸子町
委員	常田 軍三	合併協議会委員 真田町長寿会長	真田町
委員	小山 洋江	合併協議会委員 前武石コミュニケーション21代表	武石村
委員	荻野 幹	上小美術会会長	上田市
委員	吉澤 哲夫	上田青年会議所理事長	上田市
委員	瀧澤 常久	丸子町商工会長	丸子町
委員	内堀 京子	丸子町女性団体連絡協議会会長	丸子町
委員	土屋 和男	長小学校長	真田町
委員	柳沢 節子	まちづくり活動家	真田町
委員	小林 一郎	信州せいしゅん村代表	武石村
委員	木下 愛子	武石村民生委員	武石村

市章は、「市旗」「パネル」 「新市の封筒などの印刷 物」や「職員の身分証明や バッジ」などに使用します。

